



学部長ごあいさつ

保健医療学部長 片寄 正樹

昨年の猛暑と比較すると今年の夏は過ごしやすかったように思います。朝晩の気温があまり高くなかったせいでしょうか。寝室でのエアコンがあまり一般的ではない北海道ですが、今年は暑くて寝苦しい夜は少なかったようです。睡眠が重要とは昨今様々に叫ばれていますが、良質な睡眠を妨げない環境も、昨年ほどの猛暑、酷暑を感じさせなかった要因かもしれません。

この通信がお手元に届く頃には、すでに北海道の秋の気配を感じる時期と思います。四季が明確な北海道ですが、季節の移ろいとあわせるかのように本学保健医療学部の学生の学びも、座学、演習、そして臨床現場での実践的な学びが展開されていきます。私は毎朝比較的早い時間に学部正面に入りオフィスに向かう毎日ですが、附属病院での実習に向かう学生が朝早くから正面ホールで実習着を着て集合しており、学生の談笑で朝から賑やかになることがあります。凛々しい姿で実習に向かおうとしている学生個々の表情と様が、この場所が実践能力を身につける学びの場であり、学生の将来のそれぞれの目標に向けた希望の場であると感じさせてもらっています。一方で4年生後期のカリキュラムは、これから卒業研究論文を仕上げている季節となり、国家試験にむけての準備も気になりだす時期です。保健医療学部卒業生の国家試験合格率は、これまでほぼ100%を続けてきておりましたが、ここ数年は未達の学科が出て参りました。教務委員会を中心に、4年間という学びのプロセスから試験当日に最高の心身のコンデショニングで臨めるよう様々な検討を継続しています。また、先の通信でもご案内をしておりました外部評価としての保健医療学部ステークホルダー懇談会も年末に開催を予定し、これからの社会で必要とされる保健医療を見定め、さらなる充実した教育環境の整備を進めるとともに有意義な学生生活となるよう尽力しております。



保護者そしてご家族の皆様におかれましては引き続き、本学へのご支援のほどお願いを申し上げます。

【令和6年度 前期学事 実施報告】（1～4学年）

（4学年共通）

4月10日～4月12日 「保健医療総論1～4」
4月15日～ 前期講義開始
6月25日 大学記念日

（3年生）

8月 5日～8月30日
9月 2日～9月13日
9月 2日～9月20日
9月17日～

夏季休業
前期定期試験（看護）
"（理学・作業）
臨地実習（看護）

（1・2年生）

8月 5日～8月30日 夏季休業
9月 2日～9月20日 前期定期試験

（4年生）

4月15日～
5月 7日～
7月22日～8月 2日
7月16日～7月26日
8月 5日～8月30日
7月29日～8月 2日
8月13日～8月16日
8月 5日～9月 6日

臨地実習（作業）
臨地実習（理学）
夏季休業（作業）
前期定期試験（看護）
夏季休業（理学）
"（看護）
"（"）
臨地実習（看護）



2 学年副学生担当教員よりごあいさつ

看護学科（秋原志穂教授、浅利剛史講師）



看護学科 2 年生副学生担当教員の秋原と浅利です。保護者の皆様におかれましては、日頃より本学の教育にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。看護学科は副学生担当教員が 1 学年に 2 名ずつ配置されており、学籍番号の前半の学生を浅利、後半の学生および過年度学生を秋原が中心となって担当しています。

2023 年度に入学した 2 年生は 2023 年 5 月の 5 類感染症への移行後、制限が解除したことに伴い、コロナ禍前とほぼ同じ環境で教育を受けております。2024 年 6 月には 5 年ぶりとなる大学祭が開催されました。ようやくコロナ前のキャンパスが戻ってきたことを実感しております。

看護学科 2 年生は年明け 2 月頃に、初めて担当患者を受け持つ 2 週間の臨地実習が始まります。学生たちは大変な緊張の中、たくさんの方々の協力を得て実習に臨むこととなります。実習は実際の患者様に看護を提供させていただく非常に重要な機会であり、学びの深い体験となります。学生といえども「学生の看護師」であり、医療チームの一員です。学生は患者様が不利益を被らないように細心の注意を払いながら実習を展開する必要があります。そのためには学内における講義、演習における十分な学びが必要不可欠です。

副学生担当教員は、学生の出欠状況や授業に向かう姿勢を把握することにとどまらず、その背景にある心身の健康や生活の状況などを把握し、学生が勉学に取り組む環境を整えられるよう 2 年生の科目を担当されている教員、そして教務委員会と連携しながら支援をしてまいります。保護者の皆様におかれましては、引き続き学生が学業に集中できるようご支援をお願いいたします。また、本学への教育活動に対する変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



理学療法学科（戸田創講師）

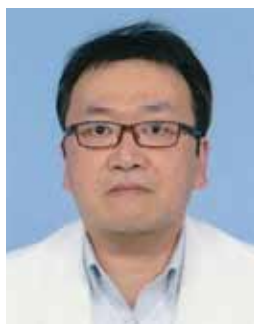


令和 5(2023) 年 4 月から本学理学療法学科に入学された皆さんの副学生担当教員を務めております、戸田創（とだはじめ）と申します。2 年生の皆さんが入学されてから早 2 年、補佐教員の田代英之（たしろひでゆき）先生とともに、学生たちの学習と成長を日々サポートさせていただいております。

昨年 5 月に COVID-19 が 5 類感染症へと移行し、学習や交流に関する制約がほとんどない中で、学生生活を送ることができているおかげか、例年よりもクラスメート同士の強いつながりが形成されている様子が伺えます。現在、理学療法学科では 20 名の学生がそれぞれの目標に向かって切磋琢磨しながら、医療人になるための学びを深めています。友人との交流が学業においても良い刺激となり、積極的な学習意欲を引き出している印象です。

第 2 学年の後期に入ると、本格的に理学療法学の専門科目がスタートします。入学時から漠然と考えていたであろう「自分たちは理学療法学を用いてどのような形で社会に貢献するのか」という問いを真剣に考え始める重要な時期に差し掛かります。大学での学びに加え、大学外部での実習やボランティアなど、様々な社会経験を積むことで、将来の医療人としての成長が期待されます。保護者の皆様におかれましては、ぜひとも学生が医療人として成長する様子を楽しみにしていただきながら、引き続き本学の教育活動に対しご理解とご支援をお願いできますと幸いです。

作業療法学科（中村裕二准教授）



作業療法学科 2 年生の副学生担当をしております中村裕二です。担当補佐の早崎涼太先生と連携しながら、修学に関するサポートを行っております。保護者の皆様には、日頃より本学の教育にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

2 年生が入学してから 1 年半が経過しました。入学直後に新型コロナウイルスが 5 類に移行し、いわゆる“行動制限”が撤廃されたことで、本来の学生らしい大学生活が戻ってきました。2 年生の様子からは、高校時代の多くの制約を乗り越え、サークルやアルバイトなどの活動を通じて、大学生活を心から楽しんでいる様子が伝わってきます。私たち教職員も、学生がこの貴重な大学生活の中で多くの経験を積み、見識を深めてほしいと願っております。

学内講義に目を向けますと、2 年生後期からは専門的な科目が増えてきます。これらは、3 年生で学ぶ作業療法の中心的な科目を理解するための基盤となり、今後の全ての臨地実習において必要となる知識や技術、臨床的思考、そしてコミュニケーションを学ぶ重要な科目です。また、3 年生への進級にも関わってきます。これらの講義内容を十分に身につけるためには、継続的な授業への参加はもちろん、作業療法士になるという信念を大切に、学内活動に積極的に取り組む姿勢が求められます。特に 2 年生後半に行われる臨床実習に向けた準備として、より主体的な学修への取り組みが期待されます。

保護者の皆様には、学生の修学状況の確認や学業に集中できるような体調管理のサポートなど、引き続きご支援をお願い申し上げます。本学の教育活動に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度保健医療学部「保護者説明会」

教務副委員長 太田 久晶

令和6年度保健医療学部保護者説明会を7月21日に開催いたしました。今年度は、参加者の利便性を目的に以下に述べる第1部を対面とZoomのハイブリッド形式、第2部以降は、運営上の理由から対面形式で開催いたしました。当日は73名（参加方法：来学62名、オンライン11名。学科別：看護29名、理学療法20名、作業療法24名）と日曜日の午前中にも関わらず、多くの保護者にご参加いただきました。また、今回は、在学生のごきょうだい、数名にも来学いただきました。ご多忙中、ご参加いただきましたことに、この場をお借りして御礼申し上げます。



今年度の保護者説明会は、学部の説明会、各学科の説明会・学内施設見学、個別相談会の三部構成となりました。学部の説明会では、片寄学部長の挨拶に続いて、正岡教務委員長より、保健医療学部の教育課程（カリキュラム）、教育目標、学位授与方針等についての説明が行われました。また、学生の心身の健康を管理する保健管理センターも紹介されました。

各学科の説明会では、各学科長から学科の教育方針や特徴、国家試験の結果、卒業後の進路などについて説明いたしました。その後、学内施設見学として、図書館をはじめ、学生が日々利用する教室や演習室などを、学科ごとに紹介いたしました。理学療法学科では、今年度初めて、西19丁目にあるリハビリテーション実習施設の見学を実施しました。最後に、事前申し込みのあった保護者様との個別相談会を実施し、学生生活、成績、就職・進路などのご質問に各学科の担当教員がご対応いたしました。

終了後に実施したアンケートでは、55名の方からご回答いただき、いずれの企画に対しても、8割以上の皆様から「わかりやすかった」または「有意義だった」と高評価をいただきました。一方で、「オンラインでも学部概要説明以外の説明があると良い」、「プログラムの中に質問時間が設けられると良い」などの貴重なご意見もいただきました。

当説明会を企画運営した教職員一同は、皆様からいただいたご意見を参考に、より良い説明会を目指し、今後も改善を重ねて参りたいと考えております。保護者の皆様におかれましては、引き続き本学部の活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。



保健医療学部説明（正岡教務委員長）



保健医療学研究科の紹介

副研究科長 谷口 圭吾

保健医療学研究科は、北海道における保健・医療・福祉への貢献を目的として開設されました。本研究科には看護学専攻と理学療法学・作業療法学専攻があり、保健医療学の質的向上に寄与する高い専門性と研究能力を持つ実践者と研究者を育成しています。平成10年に博士課程前期（修士）、平成12年（看護学専攻は平成18年）に博士課程後期（博士）を設立し、全国で2番目、北海道内で初めての設立という伝統ある大学院として先駆的な役割を果たしています。



看護学専攻には修士論文コースと専門看護師コースの2つのコースがあり、博士課程後期には看護学の発展に寄与する10領域が設けられています。理学療法学・作業療法学専攻では、基礎科学から臨床科学までをカバーする領域が用意され、博士課程前期には15の領域、後期には12の先進的な研究領域が開設されています。前期課程は、リサーチワークとコースワークを組み合わせたカリキュラム編成となっています。本研究科では、2専攻を有する強みを活かし、多様な学問基盤に対応する2専攻合同の共通科目を開講しています。専門科目については、基礎研究から臨床研究まで幅広い分野での研究が可能な教授陣の指導の下、特論・特論演習において専攻分野の専門性を深め、学位論文・課題研究において一連の研究過程をたどりま。

専門看護師コースでは、高度な実践能力を培うための臨床実習も行われています。また、社会人が学業と仕事を両立できるよう、長期履修制度や24時間利用可能な図書館、最新の文献検索システムを備えた附属総合情報センターも設置されています。

本研究科の魅力は、看護学、理学療法学、作業療法学の高度な専門性を基盤としながらも、医学研究科や附属病院をはじめ多様な連携を意識した学際的な展開があることです。そして保健医療の最前線で活躍する修了生が様々に支援してくれる環境も、本研究科の大きな財産です。保健医療の実践に貢献する研究の推進、人材育成を目指し、未来の保健医療を支え続けていきたいと考えています。

ぜひ多くの皆様に保健医療学研究科への関心をもっていただきますとともに、ご支援を賜ることができれば幸いです。



活動能力障害学特論の風景

筋機能制御学ゼミの実験風景

教員紹介（医療人育成センター：心理学 講師 加藤 有一）



はい、医療人育成センター心理学の加藤です。保健医療学部では1年次前期の心理学概論を一部担当していました。数少ない医学部との合同講義です。心理学を科学として理解してもらうために、基礎的なところから説明させてもらいました。知覚、認知、注意、意識、といった専門用語。日常的にも使われますが、何となくではなく、しっかりと科学的に理解するには教科書を読むだけでは、中々難しいです。私は、それぞれの用語に関わる心理現象を体験できるなら、それが一番理解しやすい方法と考えています。講義では、トラと人の横顔が混ざった画像を見て、最初は人に気づけず、トラだけが見えている心理状態を知覚、人が混ざっていることに気づいて「わかった」状態を認知、等と説明させてもらいました。他にも、[Invisible Gorilla]のような動画や、いくつかの漫画を例にとって「注意」・「意識」している状態とは何だろう、自我とは何だろう、といった問題を体験してもらいました。ただ、これらは「答え」があるわけではありません。未解決問題だらけです。ですが、何が問題なのか、どう考えていけば解決への道筋を導き出せるか、私見も踏まえてお話しさせてもらいましたが、色々な考え方があることを知ってもらうこと、これを講義では重要視しました。「人は考え方を手に入れたとたん頭が良くなる生き物である」との標語から始まるテレビ番組がありましたが、考え方の選択肢が多いこと、これは科学的思考のみならず、日常生活でも役立つ「教養」です。一つの側面からだけではなく、色々な角度から考えてみてください。同じことでも、これまで見えなかった景色が見えるかもしれません。心理学に限って言えば、他人の心理を知るには、自分にはない考え方を知る必要があります。そのためには、様々な人物の考えが交錯する小説、映画や漫画などはおすすめです。講義ではWeb漫画の「5億年ボタン」を例に、ネットで言われているものとは違った怖さが隠されている、なんて話もしましたが、皆さんはどう思いましたか？

保健医療学部では、心理学概論を担当させてもらいましたが、私が今現在行っている研究は、医療機器開発とストレス研究が主です。心理学と関係ないと思うかもしれませんが、必要な「知識」が違うだけで、色々な角度から「考え方」を見つける作業にあまり違いはないのかなと思っています。何を言いたいかといえば、心理学に限らず、どの分野でも「考える」ことが大事で、共通しているということです。もちろん、科学だけではなく、娯楽においても、色々な楽しみ方を知ることができるので、よりおもしろいです。皆さんが医療人として精進される中で、私の講義が、人生そのものが豊かになる一助になれば非常にうれしいです。



【令和6年度 後期学事予定】（1～4学年）

（4学年共通）

9月30日～ 後期講義開始
 10月15日～ //（3年生・作業）
 12月6日～ 文化芸術祭
 3月21日 卒業式

（3年生）

9月17日～2月21日 臨地実習（看護）
 9月30日～10月11日 臨床実習（作業）
 12月16日～1月3日 冬季休業
 1月20日～1月24日 後期定期試験（理学）
 1月27日～2月21日 臨床実習（理学）
 2月12日～3月4日 後期定期試験（作業）

（1・2年生）

12月～ 臨床実習（2年生・理学）
 12月16日～1月3日 冬季休業
 1月～ 臨床実習（2年生・作業）
 1月20日～1月24日 臨床実習（1年生）
 1月27日～2月7日 臨地実習（2年生・看護）
 2月12日～3月4日 後期定期試験（1・2年生）

（4年生）

9月30日～11月8日 臨地実習（看護）
 12月16日～1月3日 冬季休業

